

## 町田市議会・志政クラブ報告

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属：志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

中町 1-20-23

☎042-724-2171

FAX 724-1196



インターン生を同行

第

## 植物の放射性物質含有量調査

私は、友人の一人の方から協力を頂いて、3月11日の東日本大震災で被災を受けた福島第1原発事故によって、流出した放射性物質による空中放射線量につき町田市内で測定された数値を、これまで定期的にブログやHPに発表してきました。今回も同様な協力を得て、南つくし野界隈の路傍に普通に自生する桑の若芽を今月〔5月〕中旬に採集し、ある検査機関に提出しました。採取総量は600gで、検査結果は1kg単位の表示です。

その結果、ヨウ素131の含有量ですが、これは全く検出されませんでした。これに対して問題のセシウムですが、半減期2年のセシウム134が桑の葉1kg当たり9ベクレル、半減期30年のセシウム137が桑の葉1kg当たり16ベクレル検出されました。この検査機関は、各地の生協等も利用する定評のある検査機関ですが、担当者の弁によれば、「3月11日以降持ち込まれる検査商品の多くから、放射性物質が検出されるようになっているが、このセシウム134が1kg当たり9ベクレル、セシウム137が1kg当たり16ベクレル、総計のセシウム量が1kg当たり、25ベクレルという数字は、多い数字ともいえないが、決して少ない数字ともいえない量であり、間違いなく福島第1原発の影響によるものと思ってもらってよい」とのコメントをもらっています。

私の知る限り、これは、福島第1原発事故に関する町田市内の植物の放射性物質の含有量に関する初めての公表数値だと思います。今後は、多種の植物検査につき、町田市が継続して調査を行っていくべきだと考えます。

## 町田市に要請した項目

左の記事内容の測定結果の中で、町田市の全域的な調査結果である、5月20日の空中放射線量(地上高1m)の測定結果を掲載します。\*日程の関係で25日測定した分は下段です。駅を移動しながら連続した時間で測定されており、両日とも天候は晴れ。記載単位は、マイクロシーベルト/hour となっています。

<5月20日測定分>

- 0.04~0.07 東急線南町田駅 北口駅前広場
- 0.07~0.10 鶴間公園 芝生グラウンド
- 0.05~0.08 JR 横浜線成瀬駅北口駅前広場
- 0.04~0.13 同上 南口駅前広場
- 0.07~0.10 同上 町田駅中央改札口前
- 0.03~0.05 町田市役所 正面玄関前
- 0.06~0.18 JR 横浜線相原駅西口駅前広場
- 0.08~0.12 同上 東口駅前広場
- 0.09~0.12 小田急町田駅 東口改札口前
- 0.11~0.15 同上玉川学園前駅北口駅前広場
- 0.04~0.06 同上 南口バス停
- 0.03~0.06 同上鶴川駅 北口駅前広場
- 0.06~0.12 同上 下り線改札口前

<5月25日測定分>

- 0.07~0.13 京王線多摩境駅西口広場
- 0.07~0.12 同上 東口地上
- 0.08~0.10 小山多摩境公園グラウンド
- 0.09~0.15 東急線すずかけ台駅駅前広場
- 0.11~0.15 同上 つくし野駅駅前広場

私は町田市に対して、学校グラウンド・砂場・プールなどの放射線量の測定と土壌検査を求めています。また、学校給食のメニュー調査と食材の放射性物質の含有量測定の検査を別途に求めています。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発信動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発信動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (市議会議員)

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ記事



双方向の情報交流

## 小田急多摩線延伸の段階

「小田急多摩線延伸実現化検討調査」が公表されました。これは、多摩市の唐木田駅から町田市西部を通り、米軍の相模原補給廠の返還予定部分を通り、JR 横浜線相模原駅に出る小田急線ルートへの導入の具体化を求めて策定されたものです。ただし、今回は相模原駅から JR 相模線上溝駅までをも含めた路線が検討の内容となっています。

こうした鉄道延伸の話になると、費用と利用者負担金額が問題になりますが、直接的には建設期間の合計で、約 1 千億円を国や自治体が負担することになります。また、一般の初乗り料金 (120 円ほど) に加算料金 100 円が 30 年間ほど上乘せされることになります。

その際、町田市の駅は 1 駅が前提とされるとされ、小山田・常盤の片方、あるいは中間部付近とされます。私はいずれにせよ、この小田急多摩線の延伸が検討されるのであれば、上記の両方がある初めて地元の同意の意味があるのではないかと考えています。コスト的に 200 億円もの増加が必要されますが、ピーク時の運行本数はともかくとして、オフピーク (昼間) 時に各停 3 本の運行と想定されていますが、その本数では、せっかくの「電車」に相当する乗客が上乘せして増加することはないでしょうか。この新路線沿線に新たな人口流入、定着が起きると見るのが、町田市の発展を前提にした前向きな計画だと考えています。

## 家具転倒防止器具の助成追加

町田市は、今期第 2 定例議会 (6 月開催) に提出する補正予算に、東日本大震災関連事業としていくつかの事業を追加しました。

私が注目したことは、当初予算に計上された「家具転倒防止器具の助成費」を既に使いきり、同額以上の補正予算事業額 (8546 万 9 千円) を追加計上したことです。そもそもこの事業は、市内の全希望所帯に対して、必要数の当該器具の配布を行い、障がい者や高齢者世帯などは器具の取り付け費用まで行政が負担する制度です。

個別世帯の家財を守ることで、震災被害の拡大を防ぐ意味合いがあり、今日的な施策だと思っていますが、この事業は本年度に終了となるものです。



この写真は私が住む自宅アパートの部屋ですが、町田市の助成制度は用いず、かなり早くから自前で設置しています。なお、この器具 (棒) の間に小さな神棚を置いています。

掲載記事、あるいはご関心事は、下記の FAX かもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ インターンシップ (大学生の研修生を受け入れる) を実施中。現在、第 27 期生の佐藤裕介さん (明治学院大学心理学部教育発達学科 2 年生) が体験中です。問い合わせは下記に。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)